

令和4年度神奈川県立鶴見養護学校

第2回学校運営協議会開催結果

開催日時	令和4年11月4日(金) 10:00 ~ 11:40
開催会場	鶴見養護学校
参加者	7名(欠席3名)
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度鶴見養護学校第2回運営協議会 開催要項 ○令和4年度鶴見養護学校 学校評価報告書(中間評価) ○新、旧 個別教育計画書式 ○当日、プレゼン資料 ○令和4年度教科等年間指導計画の作成について ○相談希望票
委員からの意見等概要	<p>1 学校評価部会(中間評価)</p> <p>① ②、③以外の中間評価をまとめて報告(②、③は抽出して報告する)</p> <p>② <u>視点3 進路指導・支援 目標②</u></p> <p><u>児童生徒が主体的に進路学習や進路決定に取り組めるよう工夫し実践する。</u></p> <p>中間評価 目標設定について小学部低学年や重度の児童生徒には難しいという意見もあったが、いくつかの授業等を紹介していくうちに、どのような授業を行えば良いのかが見えてきた。紹介する教材のサンプルが少なく、既存の教材の紹介にとどまったことが課題である。</p> <p>○児童生徒それぞれが主人公としてという気持ちと、主体的自立的という考え方を持っていただくと良い。</p> <p>○中間評価として、どのくらいできているのか、できていないこと、今後の取組内容がわかりやすいと良い。普段の授業からわかりやすさが重要である。</p> <p>○目標設定の際に、目標と評価の観点をしっかり踏まえおくことが必要である。子どもの成長や活気は数字化しにくい。最終評価をわかりやく表してほしい。</p> <p>○その学年になってからではなく、日々の積み重ねが大切である。</p> <p>○子どもが校内実習で回を重ねるごとにスムーズにできるようになっている。先生の工夫により少しずつできるようになったことをありがたく思っている。</p> <p>○すべての学校の活動を通して言えることとして、小さな一つひとつの活動を「できたね」、「それだよ」と褒めていくことが子どもたちの自信につながり、進路選択につながっていく。保護者への周知も行っていくと良い。</p> <p>○先生方は、頑張っていると思う。子どもたちによって差がある中でしっかり教育をされていると感じた。</p> <p>③ <u>視点4 地域等との協働 目標①</u></p> <p><u>本校についての地域の理解をすすめ教育活動に活かす。</u></p> <p>中間評価 回覧板やタウンニュースへの掲載は効果が高い。「学校へ行こう週間」を人数制限はあったが、再開した。広報活動の整理をしている。地域の方の声を聞く機会が不足している。教育活動への活かし方が課題である。</p> <p>○地域の声も大切だが、まずは回覧板やタウンニュースで学校から、どんどん発</p>

信して行くことが大切である。Twitter 配信も有効な方法だと思う。

○学校は近くて遠い存在。地域の方々が学校に足を運ぶようになるとよい。コロナで思うように進まないこともあるが、知恵を蓄える時期だと思う。

○校長、先生、保護者の方が同じ考えでいけばうまくいく。少し業務は増えるが、全然違うものになる。文字だけでは伝わらない。映像や写真があるとよい。

○紙や掲示板、インターネットなど、多様な発信方法があるとよい。チラシには2次元コードを付け、情報を手元における工夫をしている。

○タウンニュースはPTA 役員でも話題になった。情報を出したい人、出たくない人もいるので難しさもある。

2 学校設置部会

① キャリア支援部会 『学校で育てたい力』について

○教員がいろいろと工夫していくことが大切である。その工夫によって児童・生徒が持っている力が広がることに繋がっていくと思う。

○保護者としては全て支援してしまうようなことがないよう気をつけていきたいので、今後も身の周りのことは自分でできるような力を養ってほしい。

○他の人や他校と比べるのではなく、目標も高く設定しすぎずにスモールステップで児童・生徒の「できた」を増やして誉めていくことで、それぞれの自信に繋がっていくと考えている。

② 地域活動協働部会 『防災面』での地域とのつながりについて

○分教室ではA E D訓練を行ったり、岸根高校の避難訓練に参加したりしている。
○地域の人に参加してもらっての訓練を実施しているが、感染症により実施できていないものもある。

○災害などが起きた時には交通、緊急対応、通信インフラ等がマヒする可能性や助けが来ないことを想定して、冷静な対処ができるよう訓練をしておくとうい。

○消防団への参加や地域の防災訓練など、感染症で切れてしまった縁を見直していく必要がある。地域の方へかけつけていただけるようなお付き合いが必要である。発信していかないと伝わらない。他校より教員数が多いのが強みである。

○所・時間・人が変わることを想定しD I G訓練をしておくことが大切である。町内会での役割分担を決めておくとうい。防災時に近隣の学校と連絡がとれる体制が必要である。

3 まとめ

○わかりやすく共有していくこと。子どもにわかりやすく、教員、保護者、さらに地域の方に発信していきたい。

○防災について、顔が見える関係を作っていきたい。

○地域の方々に少しでも知ってもらうために、今後もタウンニュースや回覧板を利用していきたい。